

家庭料理検定特別措置対応一覧

種類	特別措置の対象者	一次試験（筆記） IBT試験 [団体受験]	二次試験（実技） [個人・団体受験]	一次試験（筆記） 二次試験（実技） 共通	備考
				許可事項	
視覚	弱視	一次試験（筆記）は一般受験者と同様の問題冊子をA3に拡大したものを使用し、解答は冊子に記入する 希望があれば座席の配慮をする	一般受験者と同様の問題用紙をA3に拡大したものを使用し、受験する 希望があれば座席の配慮をする	ルーパー持参 介助者の同伴（試験中は除く）	準1級献立表 1級記録用紙 自書できることが条件
	重度の視覚障害者				
	全盲	対応不可			
聴覚	難聴者	座席配置に配慮する	座席配置に配慮する	補聴器の持参 介助者の同伴（試験中は除く）	
	重度の聴覚障害者	試験開始の合図は筆談、体に触れて合図する 希望があれば座席の配慮をする	試験開始の合図は筆談、体に触れて合図する 希望があれば座席の配慮をする		
養護関係①	上肢障害者	一般受験者と同様の問題冊子で受験するが、解答は冊子に記入する 必要があればA3に拡大した問題冊子を使用する 希望があれば座席の配慮をする	対応不可	車椅子（一次試験（筆記）のみ） 杖 乗用車での来場 介助者の同伴（試験中は除く）	二次試験（実技） 車椅子対応なし
	下肢障害者	試験会場内での移動、座席配置に配慮する	試験会場内での移動、座席配置に配慮する		
	重度の上肢障害者	対応不可			
	体幹機能障害者	対応不可			
養護関係②	病弱	座席配置に配慮する	座席配置に配慮する	乗用車での来場 介助者の同伴（試験中は除く）	
	発達障害				

個人志願者

[二次試験（実技）]

試験時間の延長はありません。

試験室は一般同室となり、別室受験はありません。

試験監督者は試験の補助のみ行います。トイレや体位固定などに介助が必要な方はご自身で確保したうえで申請してください。

ただし、介助者の同伴は試験中を除きます。

志願者が必要な機器を準備してください（許可事項参照）。機器などの貸し出しは行いません。

《特別措置申請にあたって》

実施環境の設定が確認が必要なため、受験にあたっては指定期間内に申請が必要です [検定試験申し込み手続き前に申請]。

申請にあたって必要に応じて診断書の提出をお願いする場合があります。

特別対応措置一覧では受験可能でも、ご希望の会場によっては実施環境が整わないため、会場の変更や受験ができない場合等があります。

[一次試験（料検CBT）]

一次試験（料検CBT）個人受験は希望受験日の14日前までにハンディキャップ受験申請書を株式会社シー・ビー・ティ・ソリューションズ☒の受験サポートセンターへお送りください。

https://cvt-s.com/files/rule/8files_16104230381.pdf

団体志願者

[一次試験（筆記）] [IBT試験] [二次試験（実技）]

試験時間の延長はありません。

試験室は一般同室となり、別室受験はありません。

《特別措置申請にあたって》

団体の担当者にお問い合わせください。